

# 小林酒造建造物群/栗山町



## ～炭鉱マンが愛した酒に酔う～

空知に残るレンガ造りの施設としては最大規模の歴史的建造物で、現在も酒造施設として利用され、13棟が国の登録有形文化財（建造物）に指定されております。

小林酒造は、1878（明治11）年、新潟出身の小林伝史郎が札幌で創業しました。その後、1901（明治34）年に伝史郎の次男である初代・小林米三郎によって、石炭大露頭の発見を契機に炭鉱開発で活況を呈しつつあった夕張に近く、豊富な水や広大な用地の確保が可能な栗山へ移転しました。「北の錦」は、炭鉱マンたちに愛飲され、炭鉱の発展とともに生産量を伸ばしていきました。

小林酒造旧事務所は、小樽の銀行をモデルに設計され、酒造りの歴史と蔵人の仕事を伝える酒器や什器、身の回り品、歴代首相からの手紙や色紙といった幅広い人脈と交友を示す品々なども展示されております。

住所	〒069-1521 栗山町錦3丁目109番地
公開状況	公開
開館時間	4月～10月 10:00～17:00、11月～3月 10:00～16:00
休館日	12月31日～1月3日、4月第3月曜日
アクセス (自動車)	札幌から約40km 約40分 【道央自動車道 江別東IC降 約23分】
アクセス (公共交通機関)	札幌から約1時間5分 JR函館本線 岩見沢駅降車～JR室蘭本線 栗山駅降車
問い合わせ	蔵元 北の錦記念館（小林酒造直売所） 電話：0123-76-9292
URL	<a href="http://www.kitanonishiki.com/">http://www.kitanonishiki.com/</a>